

機械器具(56) 採血又は輸血用器具
一般医療機器 ルアーアダプタ JMDNコード: 35075000
血液培養ボトル セーフティホルダー

再使用禁止

【禁忌・禁止】

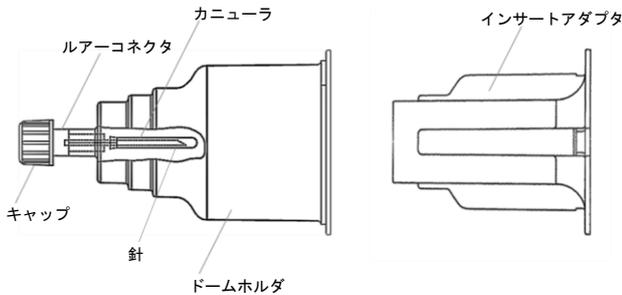
1. 再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

(1) 構造等

本品は注射筒から血液検体を直接真空採血管又は血液培養ボトルへ分注することを目的とする滅菌済みの単回使用器具である。



2. 原材料等

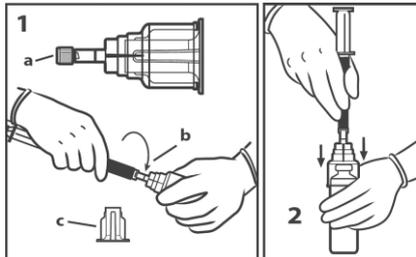
ラテックスフリー
エチレンオキサイドガス滅菌

【使用目的又は効果】

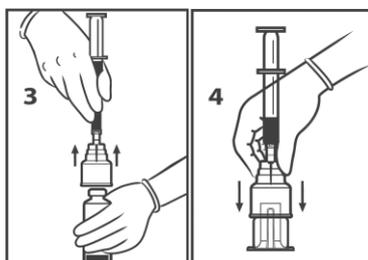
2つの器具を接続するために使用する単回使用器具をいう。

【使用方法等】

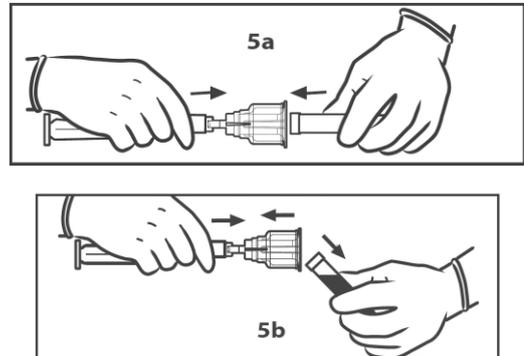
1. 無菌操作で本品を開封する。
2. 個別の院内の手順に従って注射筒に検体を採取する。
3. 針がある場合は注射筒から外し、個別の院内の手順に従って廃棄する。
4. 本品のルアーコネクタの端からキャップを外す(図1a)。血液検体入りの注射筒を本品のルアーコネクタに差し込み、ねじって図1bに示す所定の位置に確実に取り付ける。



5. 血液培養ボトルに血液を分注するには、6から9及び11の手順に従う。真空採血管に血液を分注するには10及び11の手順に従う。
6. 血液培養ボトルに血液を分注するには、インサートアダプタ(図1c)を取り外し、小径側を上にして、刺入部を上にした血液培養ボトルの横に置く。インサートアダプタを捨てないこと。
7. 図2のように本品を血液培養ボトルの首の上に置いて押し下げる。注射筒から血液培養ボトルに検体の流れ始めることを確認する。血液検体の分注中は、本品を血液培養ボトルに押さえつけたままにする。
8. 望ましい量の検体が血液培養ボトルに移動したら、図3のように本品を取り外す。
9. すべての血液培養ボトルが満たされた後、片手のみを使ってドームホルダの開口端をインサートアダプタに押しつけ、インサートアダプタに付け替える。図4を参照。



10. 真空採血管に血液を分注するには、図5a及び図5bに示すように、インサートアダプタの中央の穴を通して本品のカニューラにアクセスする。インサートアダプタを取り外さないこと。インサートアダプタが取り外された場合は手順9に従う。図4を参照。



11. 汚染された本品と注射筒は取り付けたまま、個別の院内の方針に従って適切な鋭利品用廃棄容器に廃棄する。

【使用上の注意】

1. その他の注意

- (1) ドームホルダ内に針が付いているため、針刺しには気を付けること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- (1) 多湿、直射日光及び水濡れを避けて保管すること。

2. 有効期間

有効期間は自己認証(当社データ)による。
有効期間については外装表示参照。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*製造販売業者: カーディナルヘルス株式会社
カスタマーサポートセンター: 0120-917-205